大学

文学部 英文学科

Business English I
(Basic Business Communication)

Paul Wringer 講師

グローバル社会で協働の力となる、ビジネス・コミュニケーションを学ぶ。

英語のみで進行する「Business English I」の目標は、グローバル時代に求められるビジネス・コミュニケーションの基礎力を養うことです。ビジネス英語の「読む、書く、聞く、話す」力を鍛えることはもちろん、交渉術や戦略立案などのビジネススキルも習得。さらに、メディア教材を駆使して「国際社会で働くこと」を学び、学生は自身のキャリア形成に役立てます。「世界共通語である英語は、多様な文化や価値観を理解し合う心強い味方になります。私たちは、GLOBAL CITIZEN。学生の皆さんもそのことを胸に、世界のすべての人との共生をめざし、豊かな力と心を磨こう。Where there is a Will there is a Way！」こうした思いを込めて教壇に立つリンガー先生は、学生たちと向き合い、広い世界へと羽ばたく勇気も手渡しています。

愛知淑徳の授業

生徒・学生の意欲に応え、一人ひとりの可能性を広げる愛知淑徳学園のさまざまな授業を紹介いたします。

高等学校

愛知淑徳高等学校

国語

錦織 清邦教諭

先人の知恵に気づき、自分と向き合う。国語を通して世界を大きく広げよう。

国語の授業で重視しているのは、社会を生き抜く力となる読解力や思考力、表現力などの国語力、豊かな感性を伸ばすこと。数多くの文学作品にふれるオリジナルテキストを作成するなど、国語科の全教員が連携し、中高6年間を通して生徒の成長を後押しします。錦織先生が担当する高3では、森鷗外の短編小説『舞姫』を約6時限かけて精読。「自分はどう生きるのか」と自我の目覚めの中で苦悩する主人公に対して、生徒は自らの経験や考えに照らして理解と共感を深めます。錦織先生は、〝自分事〟として多様な本を読み、視野を広げてほしいと生徒に期待を寄せます。「書物には、現代に限らず百年前、千年前に生きた人たちの人生が詰まっています。だから読書は、知識や情報を増やすだけのものではありません。先人の知恵に気づき、自分にとって大切なことを見つけ出す、貴重な体験となるはずです」。